

第37回
世田谷清掃工場運営協議会
資料

令和7年11月11日(火)
見学者説明室(3階)
10時00分～

目次

1	操業状況について	
1-(1)	ごみ搬入量及び焼却量	P.1
1-(2)	発電状況	P.2
1-(3)	区民の声対応状況	P.3
1-(4)	見学者実績	P.4
2	環境調査結果について	
2-(1)	排ガス調査結果	P.5
2-(2)	排水調査結果	P.6
2-(3)	臭気調査結果	P.8
2-(4)	ごみ性状調査結果	P.9
2-(5)	ダイオキシン類調査結果	P.10

1 操業状況について

1- (1) ごみ搬入量及び焼却量(速報値)

(令和7年4月～令和7年9月)

項 目		4月	5月	6月	7月	8月	9月	
搬 入 量	搬入日数(日)	26	27	25	27	26	26	
	総量	搬入量(t)	5,707	4,659	3,585	5,621	4,491	3,516
		搬入台数(台)	6,345	5,490	4,465	6,326	5,546	4,593
	日量	搬入量(t/日)	220	173	143	208	173	135
		搬入台数(台/日)	244	203	179	234	213	177
焼 却 量	1号炉	焼却量(t)	4,039	645	1,124	2,427	3,929	594
		運転日数(日)	30	5	8	18	31	4
		日平均(t/日)	135	129	140	135	127	149
		運転状況		5/4～5/8 ボイラ設備故障 5/9～5/29 計画停止	6/9～7/13 ボイラ設備故障			9/5～10/23 定期補修
	2号炉	焼却量(t)	95	3,217	2,954	4,188	53	723
		運転日数(日)	0	24	22	31	0	6
		日平均(t/日)	-	134	134	135	-	121
		運転状況	4/1～4/17 燃焼溶融炉故障 4/18～5/1 計画停止	5/25～5/30 給じん設備故障	6/4～6/11 給じん設備故障		8/1～9/18 定期補修	9/25～10/1 砂分級装置故障
焼却量合計(t)		4,135	3,862	4,078	6,615	3,982	1,317	

※端数処理のため、平均値や合計が一致しない場合があります。

1-(2) 発電状況(速報値)

(令和7年4月～令和7年9月)

項目		4月	5月	6月	7月	8月	9月
A	受電電力量[kWh]※	64,680	369,552	372,840	151,728	187,056	930,312
B	発電電力量[kWh]	1,801,160	1,627,930	1,722,180	3,065,240	1,743,770	557,880
C	売電電力量[kWh]	171,192	159,768	214,704	888,264	59,760	7,200
D	所内使用発電電力量[kWh] D=B-C	1,629,968	1,468,162	1,507,476	2,176,976	1,684,010	550,680
E	保安動力発電電力量[kWh]	10	10	220	40	30	100
F	太陽光発電電力量[kWh]	11,929	11,698	11,458	13,885	12,693	9,468
G	総使用電力量[kWh] G=A+D+E+F	1,706,587	1,849,422	1,891,994	2,342,629	1,883,789	1,490,560

※ 自己託送制度(送電網を介して余剰電力の一部を清掃一組内の別の施設へ送る制度)を利用して受電した電力量です。

1－(3) 区民の声対応状況

(令和7年4月～令和7年9月)

NO	受付日時	内容	対応
		なし	

1-(4) 見学者実績

(令和7年4月～令和7年9月)

	見学者内訳(人)						合計
	一般住民	小・中学生	高・大学生	官公庁・ 報道・議会	海外	民間会社	
4月	70	0	0	0	0	0	70
5月	28	104	0	32	0	0	164
6月	66	239	0	0	0	0	305
7月	33	190	0	0	0	0	223
8月	218	0	0	20	0	0	238
9月	15	72	0	0	0	0	87
合計	430	605	0	52	0	0	1,087

2 環境調査結果について

2-1(1) 排ガス調査結果

調査機関：株式会社環境技術研究所

項目	基準値		炉	調査年月日		単位
	法律	協定書		1号	令和7年 7月22日	
			2号	令和7年 6月23日	令和7年 7月18日	
ばいじん	0.04	0.01	1号	<0.001	<0.001	g/m ³ N
			2号	<0.001	<0.001	
硫黄 酸化物	151	10	1号	<1	<1	ppm
			2号	<1	<1	
窒素 酸化物	87	50	1号	38	31	ppm
			2号	26	35	
塩化 水素	430	10	1号	<2	<2	ppm
			2号	<2	<2	
水銀	50	-	1号	0.25	0.14	μg/m ³ N
			2号	0.031	0.076	

(注)

- 1 各項目の値は、酸素濃度12%換算値です。
- 2 m³N(ノルマル立方メートル)は、0℃、1気圧の標準状態における気体の体積を表します。
- 3 ppmは、100万分の1の割合を表します。

2-(2) 排水調査結果

調査機関：ユーロフィン日本環境株式会社

No.	項目	基準値	調査年月日			単位
			令和7年4月4日	令和7年6月3日	令和7年8月5日	
1	温度	45未満	23.4	28.3	36.8	℃
2	水素イオン濃度 (pH)	5を超え 9未満	7.4	7.2	7.5	—
3	生物化学的酸素要求量 (BOD)	600未満	<1	<1	<1	mg/L
4	浮遊物質 (SS)	600未満	1	<1	3	mg/L
5	ノルマルヘキサン抽出物 質含有量	30以下	<1	<1	<1	mg/L
6	フェノール類	5以下	<0.05	<0.05	<0.05	mg/L
7	銅及びその化合物	3以下	<0.01	<0.01	<0.01	mg/L
8	亜鉛及びその化合物	2以下	0.02	0.02	<0.01	mg/L
9	鉄及びその化合物 (溶解性)	10以下	0.2	0.2	0.3	mg/L
10	マンガン及びその化合物 (溶解性)	10以下	0.2	0.2	0.2	mg/L
11	クロム及びその化合物	2以下	<0.01	<0.01	<0.01	mg/L
12	窒素含有量	120未満	19	16	20	mg/L
13	燐含有量	16未満	<0.05	<0.05	<0.05	mg/L
14	沃素消費量	220未満	4	6	5	mg/L
15	カドミウム及びその化合物	0.03以下	<0.001	<0.001	<0.001	mg/L
16	シアン化合物	1以下	<0.02	<0.02	<0.02	mg/L
17	有機燐化合物	1以下	<0.1	<0.1	<0.1	mg/L
18	鉛及びその化合物	0.1以下	<0.01	<0.01	<0.01	mg/L
19	六価クロム化合物	0.2以下	<0.01	<0.01	<0.01	mg/L
20	砒素及びその化合物	0.1以下	<0.01	<0.01	<0.01	mg/L
21	水銀及びアルキル水銀そ 他の水銀化合物	0.005以下	<0.0005	<0.0005	<0.0005	mg/L

次ページへ続く

2-(2) 排水調査結果

調査機関：ユーロフィン日本環境株式会社

No.	項目	基準値	調査年月日			単位
			令和7年4月4日	令和7年6月3日	令和7年8月5日	
22	アルキル水銀化合物	検出されないこと	<0.0005	<0.0005	<0.0005	mg/L
23	ポリ塩化ビフェニル (PCB)	0.003以下	<0.0005	<0.0005	<0.0005	mg/L
24	トリクロロエチレン	0.1以下	<0.01	<0.01	<0.01	mg/L
25	テトラクロロエチレン	0.1以下	<0.01	<0.01	<0.01	mg/L
26	ジクロロメタン	0.2以下	<0.02	<0.02	<0.02	mg/L
27	四塩化炭素	0.02以下	<0.002	<0.002	<0.002	mg/L
28	1,2-ジクロロエタン	0.04以下	<0.004	<0.004	<0.004	mg/L
29	1,1-ジクロロエチレン	1以下	<0.1	<0.1	<0.1	mg/L
30	シス-1,2-ジクロロエチレン	0.4以下	<0.04	<0.04	<0.04	mg/L
31	1,1,1-トリクロロエタン	3以下	<0.1	<0.1	<0.1	mg/L
32	1,1,2-トリクロロエタン	0.06以下	<0.006	<0.006	<0.006	mg/L
33	1,3-ジクロロプロペン	0.02以下	<0.002	<0.002	<0.002	mg/L
34	ベンゼン	0.1以下	<0.01	<0.01	<0.01	mg/L
35	1,4-ジオキサン	0.5以下	<0.05	<0.05	<0.05	mg/L
36	シマジン	0.03以下	<0.003	<0.003	<0.003	mg/L
37	チオベンカルブ	0.2以下	<0.02	<0.02	<0.02	mg/L
38	チウラム	0.06以下	<0.006	<0.006	<0.006	mg/L
39	セレン及びその化合物	0.1以下	<0.01	<0.01	<0.01	mg/L
40	ふっ素及びその化合物	15以下	0.66	0.81	1.5	mg/L
41	ほう素及びその化合物	230以下	0.31	0.54	0.47	mg/L

2-(3) 臭気調査結果

調査年月日：令和7年6月18日(水)

調査機関：株式会社むさしの計測

項目	基準値	調査地点				定量下限値
		①	②	③	④	
臭気指数	12	10未満	10未満	10未満	10未満	10

(調査地点は、下図を参照してください。)

(注)

臭気指数は、試料を臭気を感じられなくなるまで無臭空気希釈したときの倍率(希釈倍率)をもとに、人の嗅覚の特性に合うように計算して求めた値です。

臭気の測定方法は、「大気試料は10倍希釈から測定を開始」と定められています。

この10倍希釈において臭気を感じられない場合、臭気指数は10未満となります。

(参考)

臭気指数 = $10 \times \log(\text{希釈倍率})$

例: 試料を100倍に希釈したときの臭気指数 $10 \times \log 100 = 10 \times 2 = 20$

【臭気調査地点】



(注)本図は、「国土地理院 地理院地図」を加工して作成した。

2-(4) ごみ性状調査結果

調査機関：ユーロフィン日本環境株式会社

(ごみの物理組成(湿ベース重量%))

分類項目	調査年月日	第1回 令和7年5月20日	第2回 令和7年7月11日	平均値
	可燃物		99.40	99.50
	紙類	36.84	38.81	37.83
	繊維	6.39	5.00	5.70
	厨芥	20.21	23.89	22.05
	木草	9.96	7.53	8.75
	プラスチック類	21.78	21.44	21.61
	ゴム・皮革	2.07	0.91	1.49
	その他可燃物	2.15	1.91	2.03
不燃物		0.60	0.50	0.55
	金属	0.25	0.20	0.23
	ガラス	0.19	0.09	0.14
	石・陶器	0.01	0.12	0.07
	その他不燃物	0.15	0.09	0.12
合計		100.00	100.00	100.00

(注)端数処理のため、平均値や合計が一致しない場合があります。

2-(5) ダイオキシン類調査結果

調査機関：ユーロフィン日本環境株式会社

項目		基準値	調査値	調査年月日	単位
排ガス	1号炉	0.1	0.00055	令和7年8月21日	ng-TEQ/m ³ N
	2号炉		0.000073	令和7年7月18日	
飛灰処理汚泥		3	1.5	令和7年7月22日	ng-TEQ/g
スラグ		3	0.00000019	令和7年7月22日	ng-TEQ/g
排水		10	0.0094	令和7年7月22日	pg-TEQ/L

(注)

- 1 ダイオキシン類は、ポリ塩化ジベンゾ-パラ-ジオキシン、ポリ塩化ジベンゾフラン、コプラナーポリ塩化ビフェニルの総称です。
- 2 TEQ(毒性等量)とは、ダイオキシン類の量を最も毒性の強い2,3,7,8-四塩化ジベンゾ-パラ-ジオキシンの毒性に換算した値です。
- 3 排ガス中のダイオキシン類の値は、酸素濃度12%換算値です。
- 4 ng(ナノグラム)は10億分の1グラム、pg(ピコグラム)は1兆分の1グラムの質量を表します。
- 5 m³N(ノルマル立方メートル)は、0℃、1気圧の標準状態における気体の体積を表します。
- 6 飛灰処理汚泥は、飛灰を薬剤処理(ダイオキシン類対策特別措置法で定められた処理)したものです。